

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

## 公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫  
両団体理事長 半 田 晴 久  
交通部会長 松 本 治 男  
専務理事 清 原 淳 平

### 交通部会のお知らせ (第265回)

日時 平成30年10月30日(火) 午後1時半～3時半

場所 参議院議員会館 地下1階 B108会議室

千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「B108会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

#### 議題 1、最近の交通情勢について

挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)

#### 2、秋の全国交通安全運動期間中の交通事故発生状況

#### 3、認知機能検査・高齢者講習の円滑な実施に向けた取組について

#### 4、交通事故統計(9月末及び10月29日まで)

解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

#### 報告

去る9月25日開催の第264回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長より、「最近の交通情勢について思う」と題して開会挨拶がありました。今年の夏は、異常ともいえる猛暑と西日本豪雨・台風21号・北海道大地震という大災害に見舞われた夏だった。また、交番勤務者を狙った異常な殺人事件が3件相次いで発生した。一方、交通事故死者数は、過去最低を更新するペースで推移している。これから薄暮時の事故が増加する季節になり、より一層の努力で、1人でも事故死者数が

減らせるような取り組みに期待したい。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐（警視）より、「平成30年上半期における交通死亡事故の特徴等」について解説がありました。上半期の事故死者数は1603人で、昨年から72人減少し過去最少を更新した。一方、75歳以上の高齢者による死亡事故は32件増加し、高齢者の構成率は56.6%に上昇した。また、過去5年間の死亡事故を分析したところ、午後5時～7時の間に発生した死亡事故が他の時間帯の1.7倍だったこともわかった。この時間帯は日没前後1時間に該当し、これからの季節は特に運転者から歩行者が見えにくくなる時間帯に当たる。反射材の着用とライト点灯を周知する。また、衝突被害軽減ブレーキ搭載車の死傷事故率は非搭載車に比べ52.9%減少することも判明しているので、装置が100%機能するとは限らないが、搭載促進に期待したい。

次に、「平成30年秋の全国交通安全運動」について解説がありました。9月21日～30日までの10日間、秋の全国交通安全運動を実施している。薄暮時の事故防止対策のほか、横断歩道手前では、自動車は必ず減速し歩行者を優先させる。歩行者も直前横断や横断歩道以外横断をしないように啓発活動を行う。

次に、「交通事故統計（9月24日まで）」について解説がありました。8月、9月とも前年比20人程度の減少で、過去最少ペースは続いている。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、以下のような意見が出された。◎統計を見ると高齢歩行者の反射材着用率は4分の1程度にとどまっている。最近では配布するだけでなくその場で着用させているが、高齢者自身が購入しないと着用は進まないかもしれない。◎運転手の側から目立たないので反射材がよく見えていないのでは。◎今回の統計資料を見ても良く集計分析されており、これを全国の交通警察が参考にし、事故減少に貢献していると思うとの意見もあった。

★ 資料代 会員500円  
次回、10月30日（火）の交通部会（参）に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様の F A X \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

**テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。**  
**非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。**  
(その際の会費は二千元となります。)

HP <http://www.jidaisassin.jp>

Eメール [kiyohara@jidaisassin.jp](mailto:kiyohara@jidaisassin.jp)